



輝く武勳者へ行賞

支那事變陸軍第十八回論功行賞は昨二十六日發表された今回の行賞範圍は十四年十二月中旬頃まで北支、中支、南支、滿州の一部を含む。戦に奮き興起の礎石となつた名譽の戦死戦傷病死者の輝く武勳者へ行はれたもので平市及び石城郡關係は左記十六勇士である。

功六旭七歩曹鈴木七郎(石住) 同片寄英秋(江名) 功七旭七歩上三富竹藏(内郷)

旭七騎伍根本吉(根田) 功七旭八歩上鈴木徹郎(鹿島) 同小山田重信(同) 同歩五五十石三三三(錦) 同歩上平子芳之助(入道野) 同砲上小野保(小名濱) 同歩上高木定壽(同) 同歩上丹野一郎(平) 同同西郷知衛(同) 同工伍澤田明(山田) 旭八歩伍芳賀五郎(吉) 大浦(同砲上) 金成春治(鹿島)

近頃 今年もお花見は 事變下らしく 夜のお遊びは十二時限

春寒料峭とは云へば節は平公日頃の好陽は東北に誇る乎公園の櫻花を急がせて遠目にも紅んだのを見て来た、この模様では待たるゝ咲きは来四月十日の忠魂祭頃から、市の土木課でもそろゝ花の準備に動いてゐるが時局柄飽くまで自衛にと云ふ縣保安隊からのお遊しもあり催し物の如きもこれに添ふ管の今年の花見は自ら度脱した狂態を慎まれるではあらうが其の筋からのきつゝお遊しは次に示す如く

花見場の料理屋飲食店の営業時間は午後十一時までと、歌謡曲は午後十時限り

明日平市會

平市では縣立工業學校建設に對する寄附十萬圓の起債のほかに左記に關して明廿八日午前十時から市會を開く

▲事業年度繰越 十四年度更正豫算 起債 十五年度豫算追加更生 土地買収

模範農地視察

石城郡農會議員の模範農地視察は十四、五年度の左記十六名、来る七日午後九時東京驛集合で二泊三日を豫定し紀元二千六百年祭の榎原神宮及び伊勢大神宮を参拜途上伊勢神宮の農業博物館、静岡の他を視察の筈であるが京都解散の筈

▲泉村上遠野定次郎 内郷 沼田滋之助 鹿島志賀直哉 赤井草野三郎 神谷佐藤庄太郎 大浦木村清治 四倉新野盛 大野荒川庸幸 渡邊永山定秀 錦大平次郎 勿來大平陸四郎 警備隊内 孝平 川部輝田即郎 田人 小澤松太郎 高久藤谷久太郎 小名濱小野野平

人絹姫の自治會

石城郡錦村の吳羽人絹工場の人絹七百七十餘名は今年家庭自治會を組織し来る四月から毎週十二時間以上修身、國民教育、裁縫等を工場内で受講することになつたが同工場で高師教授若田忠之助氏の手で、吳羽人絹を編織し女子産業職士の智得教育をなす

小名警防に感狀

小名濱町警防團は昨年八月五日

聖業に微力を致す

平市七軒町出身 齊藤惠二

力があるからです、満目曠野の雪原

内地で見られぬ 齊藤惠二

紀元二千六百年の新春を迎へ悠久にして光輝ある帝國の歴史と意義を崇拜し稜威の彌々盛んに皇運の彌々榮えに榮えまことを祈り奉ります、小兵新春早々某地に訓練に出張せし爲め心ならずも失禮の致御容赦下さい、零下三十度の酷寒をしのみ、味はひ蒙古風の中に皇軍の一員として銃持つ兵の有難味を感じ居ります、これも銃後の皆様の暖かい御挨拶まで如斯に御座候、謹んで早紀二千六百年の新春を賀し奉り併せて平素の陳述を謝し熱誠なる銃後の御挨拶を感謝申し上げます、御挨拶をもつて無事、ます() 奮闘聖業に微力をいたす覚悟に御座候、右新春の御挨拶まで如斯に御座候、

無言の凱旋

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

軍保馬の鍛錬會

第一小學校の優等生

▲第一組(組)櫻庭昭歌 菅本昭次 天野進平 堀江將二 石山瑞雄 三井鏡治郎 小川司郎 二瓶繁三 浦邦雄 石田幸雄 飯沼省一(二組)青沼國雄 野崎嶺 山野邊政家 片寄透矢吹定雄 石川照憲 江尻唯藏 北川昭五郎 石川忠臣 田野入重徳 石山通雄 青山敏夫(三組)橋本武佐竹央行 澤鏡二 渡邊貢松本誠次 馬目俊太郎 瓜田健 大内賢二 鈴木重時 齋藤昭雄 宇佐美文雄(四組)市原瑛郎 柳澤信 坂本文成 鈴木正 門馬坂

▲第二組(組)松野尾寛 菅正保 大高剛一 吉田直政 佐々木庄一 牧野廣治 伊藤作平 平野光男 常陸敬一 篠原滿 庄司正則 敬一 橋本眞一 新妻幹男 吉村浩四郎 大井川準之助 渡邊久仁雄 門馬敏 三瓶政巳 須藤清雄 矢野謙尙 高田勝 磯山賢司 佐川富保 宮崎信夫(三組)鈴木昭 大原長英 吉原功 大塚勉 馬目英夫 増田則夫 小野善則 青木進一郎 蛭田浩司 柴田秀夫 山田藤吉夫

▲第三組(組)柴田章夫 伊藤利平 鈴木基司 佐藤紀文 山野邊久吉 吉田弘平 淺水逸郎 高野和夫 岡田早苗 大泉英明 赤塚信一(二組)佐々木寛 岡部久一 原晋二 渡邊弘 鈴木可一 藤田丹 加藤明 運沼清夫 船生喜八 岡山一之 白土和廣(三組)鈴木久一 金田秀夫 吉成時保 鷗沼秀夫 吉井通雄 保川典善 馬目修一 和田武夫 新田秀市 今宮和保三 小林昌一 野野達雄 坂本政直 木田昭八郎 皆川勇一 杉原泰嗣 田中敏郎 吉田賢 島場盛男 伊藤吉夫

▲第四組(組)石山遠雄 水野昭之 淺水彪 上村量美 長谷川直義 荒川晃一 鈴木章 菅孝 青沼健雄 鈴木三郎 金子益三 小川昭三 豊口皓(二組)小林智平 根本乾雄 飯島賢 岩本堅一 岡井英吉 安齊徹 鈴木正彦 阿部乙之 石川慶一 坂本義則 新妻和男 鈴木利彌 大越敏夫 遊佐宣之(三組)山崎慶一 市原亮三 正木和夫 井幡正 丸山久司 金成芳男 山崎光雄 松本和 鎌田敏夫 磯上久一 兒山亘 萩原和雄 阿部進

▲第五組(組)栗田孝一 吉田正治 松本欣平 佐藤廣美 狩野武男 石井康魯 水戸部重義 大原秀夫 小

▲第六組(組)松崎延 諸橋敬治(二組) 色川光吉 志賀柳一 相川文雄 市毛敏 淺原信一 土井利和 森山薫 藤内得三 根本義夫 鈴木英雄(二組)本多英夫 鈴木昭 大塚二郎 石川笑一 吉田直喜 中村敏勝 石川亮一 草野英一 小谷野野衛 菅波哲 高木重治

▲第七組(組)安藤嘉明 佐竹五郎 藤田五郎 山崎文平 大竹太 近藤正雄 保志野節 山澤榮三 若色正次(二組)丸山一郎 丸山政利 片寄正男 鈴木徳次郎 藤田謙 吉田政雄 尾形榮一 柏泰 平栗清 藤田正博 高橋富男 高崎敬次郎 鷗谷清 大野將夫 酒井俊男(第一校以上)

聖業に微力を致す

平市七軒町出身 齊藤惠二

無言の凱旋

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

軍保馬の鍛錬會

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

聖業に微力を致す

平市七軒町出身 齊藤惠二

無言の凱旋

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

軍保馬の鍛錬會

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

聖業に微力を致す

平市七軒町出身 齊藤惠二

無言の凱旋

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

軍保馬の鍛錬會

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

聖業に微力を致す

平市七軒町出身 齊藤惠二

無言の凱旋

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

軍保馬の鍛錬會

石城郡植田町の軍用保護馬鍛錬會では明二十八日同町小學校庭で鍛錬をなす

トウ児童を轢く

昨夜湯本の火事

姉と妹で、献金

石城郡好間村尋常高等學校の第五生鶴山起世子、同三年生鶴山佳世子さん姉妹は小遣錢を節して金三圓を軍事郵便機基金に献金す

隣家日野忠平方を半燒させて七時半鎮火、原因炬燵の不仕末で損害三千圓

ホシニシニ色 シヤープペンシル 一本金五拾錢以上 シヤープでしたら一流品ホシニスを御指名願ひ上げます。御進物としては立派な化粧箱を用意して御座います。

代理店 文魁文堂 電話三三三番

床業方

アングラ兔

飼養のコツ

男手一人で三百羽
年の純益千二百圓

長野縣の小諸町小原柳澤惣治翁の妻やそじ嬢(六)が數年前からアングラ兔百餘羽を飼育し女の手一つで家事の片手間に養蚕以上の純益を上げてゐるので評判されてゐる

アングラ兔が三月毎に刈り採る兔毛の量は一羽について四十匁内外で一匁七錢の相場として二圓八十錢程度これが一年に四回で十圓餘りそれで何代の麥その他を差引いても祐に七圓前後の純益を擧げ得られる

このほかに自給肥料として家畜では一番だと云はれる兔糞類を最低年額一圓以上はあると云はれてゐる

右の飼育をつやけてゐる経験によると男の手なら一人で三百羽の飼育は容易であり一年の純益千二百圓を擧げ得ると云ふのである

なほ飼育上、偏食を避けて麥、豆、野菜の屑、干菜などのほか魚類の粉末を與へると毛の光澤を増した飼育者の通弊と云はれてゐる粗品種の糞は極力避けべきであつて出來得るならば一生に一回が理想的で糖々一年に一回程度にとりて仔を取るよりも主として優良なる毛を得ることによつて利益をあげることだ云はれてゐる、アングラの飼育は極めて容易で子供の手に任せても足りる、農家の廢品處分と自給肥料策から一農家三十羽以上の飼

育を勤められてゐる(終)

肉の御用命は

三三三屋

牛も豚も優良品の自慢

正確なる体温計
寒暖計
計量器指定販賣
平市五丁目角
山野邊藥局

「貯蓄は無盡で」

三行圖

無盡城

お醤油はヤマフル

醤油、味噌、味噌、たひら、正宗、鰹節、食料品

明治生命壽城代理店

山崎合名會社

電話 本営業部 二一七〇番

山崎與三郎

附屬産院 新設

妊産婦入院隨意

産科 婦人科

木村病院

平市新川町
電話 一六四番

専門 皮膚科 泌尿器科 性病科

診療時間 午前八時より 午後九時まで

醫學博士 江尻伊三郎

平市田町 電話六九一番

院醫尻江

レストラン サロ

飲食 喫茶 酒場を兼ねた。

營業時間 開店：午前十時 御食事は午前十一時より、閉店：午後十一時半限り。

平市銀座街 電話五九二番

生 胃腸 三ツローゼ

酵母剤の上を行く

ホシチエーンストアー

星製藥株式會社福島縣支部

ホシ藥舖 (平市3ノ30) 電話429番

星チエーンストア支部

製する際死滅しぬい酵母と異り、ミクローゼの主成分である日本國産のビルツは、生存力が極めて強く、服用後、胃腸内でとんとん増殖し、腸力が消化器を産生する特徴を有して居ります。—故に、効果は特異的、且つ腸力であります。何よりの證據は、食慾が増し、快い便通が得られることです。

郵券十錢で、五日分六十錢の試服券を急送す

東京・五反田 星製藥株式會社

東北振興アルミ株式會社

郡山工場工員募集

一、應募資格 満十六歳以上四十歳迄ノ男子

一、待遇 未成年者月收三十四圓以下 成年者月收四十二圓ヨリ五十四圓迄

一、宿 舎 本人ニ限リ無料食費一ヶ月約十圓

一、旅 費 採用者ニハ工場迄ノ赴任旅費ヲ支給ス、経衛當日ハ辨當代及餘衛地迄ノ往復旅費ヲ支給ス

一、申込手續 自筆履歴書一通平職業紹介所ニ提出ノコト

一、銓衡日時 三月三十一日午前九時ヨリ於平職業紹介所、銓衡日以降申込ノ方ハ其ノ都府縣旋ス

平職業紹介所

カバンと洋品類

眞砂屋 (平市驛前) 電話(五)六

生徒募集

文部大臣認可 藤田女學校

電話 三二八番

福島縣平市田町

【一】募集人員 50名

654321、本科一年(二ヶ年卒業) 五十名

3、師範專修科一年(二ヶ年卒業) 五十名

2、師範科(二ヶ年卒業) 二十名

1、本科、裁縫專修科(二ヶ年卒業) 三十名

6、本科、裁縫專修科(二ヶ年卒業) 二十名

【二】入學手續

右各科共入學ヲ許ス、志願者ハ本校規定在學證書ニ適當記入捺印ノ上二月一日ヨリ三月三十日マデニ平市藤田女學校ニ提出シナサイ

追而提出書類考査ノ上證書受付ノ順ニ依リ入學ヲ許可致シマス。◎詳細ハ本校宛學則請求ナサイ(返信料金封入)